

性教育全体計画

東京都八丈島八丈町立大賀郷中学校

- * 学習指導要領
- * 東京都人権施策推進指針
- * 東京都教育委員会 教育目標等

学校の教育目標

- 1 進んで学習する人
- 2 礼儀を大切にする人
- 3 心身共に健康な人

- * 生徒の実態
- * 保護者・地域・社会の期待、要望

「基礎的知識・生命の大切さの理解」

を通して

「人権尊重・ジェンダー平等の精神に基づく価値観」を身に付けさせ、

「人格の完成・豊かな人間形成」
を図る。

性教育の目標

- (1) 自己の認識を確かにする。
人間の生物学的な性や心理、社会的、文化的な性についての理解を深め、自己の性に対する認識をより確かにする。
- (2) 「人間尊重」「ジェンダー平等の精神」に基づく豊かな人間関係を築くことができるようにする。
発達段階に即して、人間尊重・男女平等の精神の徹底を図り豊かな人間関係を築くことができるようにする。
- (3) 適切に判断し、対処する能力や資質を育てる。
家庭や社会の一員として必要な性に関する基礎・基本的事項を習得させ、直面する性の諸問題に対して適切な意思決定や行動選択ができる資質や能力を育てる。

目指す生徒像

- * 正しい知識を身に付け自分自身を大切にするとともに、他の人の立場に立って考え行動できる生徒
- * **性**についての正しい理解を深め、互いの人格を尊重できる生徒
- * 直面する性の不安や悩みに適切に向き合い、対処できる生徒

各教科の指導の重点

- * 各教科の特性を生かす中で「生命の大切さ」を教え「人間尊重」「ジェンダー平等」の精神を豊かにする指導をする。
- * 基礎、基本を大切にした授業を展開する。
- * 自らすすんで学ぶ意欲や態度を育成する。

道徳の指導の重点

- * 強い意志を持ち、節度と調和のある生活を送る生徒を育成する。
- * 豊かな情操を持ち、自他の命の大切さを理解し、優しい心を持った生徒を育成する。
- * 自己を見つめ、粘り強くやり抜く生徒を育成する。
- * 自分自身や集団の向上のため自主的・自律的に行動する生徒を育成する。

指導の重点目標

- ① 心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について理解するとともに、発達途上にある自己の性を受容し、自他を大切にすることの心情や態度を育てる。
- ② 男女の心身の特質を基に互いに相手を理解し、人格を尊重することの心情を育てる。また、望ましい人間関係を築いていくための、より安全で適切な意思決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てる。
- ③ 男女の生き方は多様であることを理解し、家庭や社会における期待される役割や自己の将来の生き方について考えるとともに、家庭や社会の一員として適切な判断、意思決定や行動選択ができる態度や能力を培い、実践力を育てる。

特別活動の指導の重点

- * 自主的、実践的な集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深めさせ、自己を生かす能力を養う。
- * 学級活動等を通し、豊かな人間性を育成するとともに、生命の大切さ、人権尊重、ジェンダー平等の精神を豊かにする指導を行う。

総合的な学習の時間の指導の重点

- * 生きる力を養うための基礎的で確かな力を養う。
- * 他人の生き方に学び、自らを高める力を育成する。
- * 話し合いやコミュニケーションを大切にし、自己の意見や考えを適切に表現する力を育てる。

性 教 育 学 習 等 内 容 (保健を中心とした内容)		
第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
○ 心身機能は年齢と共に発達する。 ○ 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟する。また、性に関する問題が起きた時に適切に対応する力を身に付ける。 ○ 知的機能や精神機能は、生活体験などの影響を受けて発達する。また思春期においては自己の認識が深まり、自己形成が確立されていく。 ○ 心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、心身の調和を保つことが大切である。	○ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活が必要である。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、健康を害する原因となる。 ○ 心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処するとともに心身の調和を保つことが大切である。 ○ 性に関する問題が起きた時に適切に対応する力を身に付ける。	○ 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っている。さらに、病気は主体の要因と環境の要因が関わり合って発生する。 ○ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となる。また、そのような行為には個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、適切に対処する必要がある。 ○ 感染症は、病原体が主な要因となって発生する。また、感染症の多くは発生源をなくし、感染経路を遮断し、主体の抵抗力を高めることによって予防できる。 ○ 個人の健康と集団の健康とは密接な関係があり、相互に影響し合う。また、健康を保持増進するためには、保健・医療機関を有効に利用することが大切である。 ○ 性に関する問題が起きた時に適切に対応する力を身に付ける。